

25  
YEARS  
1995-2020

サンフロント21懇話会  
25周年記念誌



25  
YEARS  
1995-2020

サンフロント21懇話会  
25周年記念誌

# C O N T E N T S

## ごあいさつ

静岡新聞社・静岡放送 社長 大石 剛 .....4

## 25周年に寄せて① .....6

静岡県知事 川勝 平太  
代表幹事 岡野 光喜  
アドバイザー 大坪 檀

## 25年のあゆみ .....8

## 提言から実現へ .....12

## 活動方針は地域課題を映す鏡 .....16

記念座談会

## 県東部は「ひかり輝く地域」になったのか .....18

## 25周年に寄せて② .....22

元静岡県知事 石川 嘉延  
初代東部総局長 小谷 勇 ほか

懇話会活動の源泉

## 懇話会のエンジン「運営委員会」 .....25

## おめでとうメッセージ .....26

## 資料で見る懇話会活動 .....30

## 歴史の転換期にそよぐ「希望の風」 .....31

副代表幹事 静岡ガス特別顧問 岩崎 清悟



## ごあいさつ



静岡新聞社・静岡放送  
社長

大石 剛

静岡県東部の産学官が集い、地域活性化に向けて活動するサンフロント21懇話会が設立より25年を迎えました。この間、県知事への提言や地域の問題解決に向けた各地区分科会の開催など、積極的な活動を展開してまいりました。これもひとえに会員の皆様のご支援と情熱のたまものと、厚くお礼を申し上げます。

懇話会は静岡新聞社・静岡放送が東部総局ビル「サンフロント」を沼津市中心部を流れる狩野川の御成橋のたもとに開設したのを機に、1995年6月に設立されました。県東部のポテンシャルを生かしながらさらに魅力を高め、力強く発展させるために市町間の協力や県境も越えた広域連携などについて議論を重ねてきました。特に医療産業を軸にしたファルマバレープロジェクトや観光振興、コンベンション機能促進などへの支援には力を注いできたところであります。





近年では沼津市に農業の先端技術研究拠点「AOI-  
PARC」が開設されたことを契機にした、農業の生  
産性革新を図る「アグリ・オープン・イノベーション」プ  
ロジェクトの推進や動物愛護と福祉思想の普及活動  
の支援など、東部に新たな価値を生み出すべく活動に  
取り組んでまいりました。富士山や韮山反射炉の世界  
遺産登録、伊豆半島の世界ジオパーク認定、ワサビ栽  
培の世界農業遺産認定など、東部の歴史や文化に根  
差した財産が相次いで世界の脚光を浴びる中、これ  
らを実に地域振興に結び付けようと、効果的な情報  
発信やホスピタリティー向上の方策を探ってきました。

新型コロナウイルスの影響で来年夏まで1年の延期  
が決まりましたが、東京五輪・パラリンピックの自転車  
競技が富士山麓や伊豆市で開かれることは大きな  
チャンスです。自転車競技は欧州を中心に非常に人気

のある競技で、これを新たなスポーツ人口拡大と新産  
業創出の好機ととらえ、既存産業のスポーツ産業参入  
も含め懇話会として支援していきます。今年1月にはト  
ヨタ自動車裾野市に創る実証都市「コネクティッ  
ド・シティ」の構想を発表しました。AI(人工知能)な  
ど先端技術を駆使した未来の都市モデルで、周辺市  
町も主体的にかかわっていくよう、懇話会としても働  
きかけを進めます。

高度情報化の進展で今後、地域と日本全国、世界  
はさまざまなレベルで一層、密接にかかわるようにな  
るでしょう。懇話会もグローバルとローカルの両方を見  
据えながら、県東部の発展に向けてより大きな存在と  
なることを目指していきます。今後とも相変わらぬご指  
導とご協力をよろしくお願いいたします。



# 25周年に寄せて

懇話会の設立、そして、その後の25年間の継続を共に支えた皆さんから多くのご寄稿をいただきました。それぞれのメッセージからは、行政と民間の垣根を超えた各界の方々によって密接な地域づくりが進んできたことが改めて読み取れます。

(P22、23、24に続く)



静岡県知事  
川勝 平太

サンフロント21懇話会が設立25周年という節目を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

サンフロント21懇話会におかれまして

は、県東部地域の活性化や発展にかける情熱を持って、ファルマバレープロジェクトをはじめ伊豆半島の魅力発信、スポーツ産業の推進等の研究に取り組み、県に対し数多くの政策提言を頂戴いたしました。改めて深く敬意を表します。

特に、ファルマバレープロジェクトに関しましては、平成14年当時、静岡がんセンター研究所の早期整備等の具体的な提言を県に行うとともに、その後も、ものづくり産業とファルマバレープロジェクトとの連携など、継続的な研究に御尽力されております。県はこの提言を受け、企業の医療健康分野への挑戦を積極的に支援した結果、これまでに約50の地域企業が新規参入を果たし、120件以上の製品の事業化に成功しました。医薬品・医療機器の合計生産金額は9年連続で全国1位となるなど、富士山麓の医療城下町と呼ばれるにふさわしい成長を遂げております。

昨年10月のラグビーワールドカップ2019開催時には、東京五輪・パラリンピック自転車競技の本県開催を見据え、海外企業と東部地域の企業とのビジネスマッチングの場を設けていただきました。

東京五輪・パラリンピックは1年延期となりましたが、県といたしましては、引き続き準備に万全を期し、事前キャンプやホストタウン活動を契機に、官民一体となって世界との交流を進めてまいりたいと考えております。

誰もが努力をすれば人生の夢を実現し、幸せを実感できる「ドリームズ カム トゥルー イン ジャパンの拠点」となることが本県の将来像です。「世界から見た静岡県」という視点に立ち、SDGsのフロントランナーとして、世界のモデルとなる安心・安全で美しい“ふじのくに”づくりを加速するためには、地域に根差した政策の実行が重要となります。

今後とも、東部地域の活性化に向けた御提言を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、サンフロント21懇話会の益々の御発展と、関係の皆様への御健勝と御活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## 代表幹事

### 岡野 光喜



サンフロント21懇話会の活動が25年になりました。この大きな節目を迎えることができましたのも、会員の皆様方の静岡県東部地域の発展に対する熱意とご協力のおかげであり、深く感謝申し上げます。

懇話会は県東部の各エリアの特長を生かすとともに、県境も越えた広域の連携や交流による活性化策の提言などを官民一体で取り組んできました。四半世紀の歩みを重ねる中では、キラメッセぬまづの建設やファルマバレープロジェクトなど、懇話会の提言により実現したり大きく推進したのもの

少なくありません。今後も提言団体として東部地域のさらなる発展に寄与できるよう、研究と議論を重ねてまいります。

来る東京五輪・パラリンピックでは富士山麓や伊豆市で自転車競技が行われます。サイクルスポーツを軸にしたスポーツ産業の創出や観光交流の促進につながる大きなチャンスです。大会終了後のレガシー（遺産）づくりも重要でしょう。トヨタ自動車とNTTと連携し、裾野市に創る「コネクティッド・シティ」は街全体をITでつなぐ次世代都市です。こうしたダイナミックな動きが東部地域にとってさらに大きな追い風となるよう、懇話会として積極的に支援していく所存です。会員の皆様の一層のお力添えをお願いいたします。

## アドバイザー

### 大坪 檀（静岡産業大総合研究所 所長）



驚きです。25年も経ちましたか。継続は力なりです。サンフロントの活動は静岡がんセンターをベースとして様々な地域活性、創生活動を展開し、この25年、地域創生活動のモデルともいわれるくらいに世間の人が見張るような多くの成果を上げてきました。25周年、本当におめでとうございます。

沼津市にサンフロントビルが誕生、静岡新聞の東部総局が本拠を構え小谷勇氏が総局長に就任し、静岡東部の発展のためにサンフロント21懇話会の設立を構想としているので協力して欲しいと声をかけられ、会のアドバイザーとしてこの25年、色々お手伝いさせていただきました。会員の皆さん

が地域愛のもと一致団結、協力、地道に活動を続けられたこの25年にわたるご努力とその成果に脱帽です。会の活動に参加させていただき光栄、感謝です。

富士山と駿河湾、風光と歴史の伊豆半島、そして新、旧2本の東名高速道路、新幹線、東海道線と交通運輸の大動脈、それに数々の先進的産業が存在するこの静岡県東部地域は、日本のシリコンバレーと呼ばれる地域に次の25年のうちに大変容する可能性がますます高まってきました。アオイパーク構想、トヨタ提唱の未来都市構想、山梨県とのメディカル・デバイス・コリドー構想、富士山、韮山反射炉などの世界遺産の出現、東京五輪・パラリンピックの自転車競技開催などなど大変容をもたらす風が一層強まっています。

次の25年が誠に楽しみ。





# 懇話会25年のあゆみ

## 1995▶1998年度

### 1995年度 (平成7年4月～8年3月)

- 4月 6日、サンフロント21懇話会発起人会開催。  
代表幹事に岡野光喜スルガ銀行社長。
- 6月 12日、設立総会をホテル沼津キャッスルにて開催。  
会員365人。地区割を決定。
- 7月 第1回運営委員会。
- 9月 第1回伊豆地区分科会。
- 11月 全体会開催。
- 12月 ①観光大学②県産業人材育成センター③観光情報センター④温泉研究所を  
石川嘉延知事に陳情。
- 1月 県東部28市町村長連絡協議会発足。
- 1月 第1回沼津・三島・駿東地区分科会。
- 3月 第1回岳南地区分科会。  
以降、毎年、総会・全体会・分科会を計5回開催。



### 1996年度 (平成8年4月～9年3月)

- 4月 県東部の情報番組SBSラジオ  
「土曜ワイドラジオイースト」放送開始。
- 5月 シンクタンク「TESS」の設置を決定。
- 10月 観光活性化センター誘致で  
三島市が懇話会に要望書提出。
- 12月 県観光活性化センター、仮設イベント施設に  
ついての提言書を石川嘉延知事に提出。



### 1997年度 (平成9年4月～10年3月)

- 5月 懇話会、日本都市問題会議、沼津市による  
「地方拠点都市への成長の条件を探る」  
シンポジウムを開催。
- 12月 東部総局開局3周年記念テレビ番組  
「県東部の中核都市圏構想・駿豆都市連合を  
考える」制作協力。
- 2月 懇話会が提言した静岡県東部初の本格的展示イベント施設  
「キラメッセぬまづ」起工式。



### 1998年度 (平成10年4月～11年3月)

- 4月 静岡新聞「風は東から」連載開始。
- 8月 テレビ特番「風は東から～市民と創る東部新時代」放送。
- 10月 「キラメッセぬまづ」オープン。
- 3月 テレビ特番「風は東から～県東部活性化への胎動」放送。



## 主な出来事

### 1995年

阪神・淡路大震災／地下鉄サリン事件／野茂英雄が米大リーグで新人王獲得／PHSサービス開始／九州自動車道が全線開通／Windows 95発売／ゆりかもめ開業／高速増殖原型炉「もんじゅ」事故発生

### 1996年

アトランタ五輪開催／病原性大腸菌「O157」による食中毒が全国各地で発生／羽生善治が史上初、将棋のタイトル七冠独占を達成／東京ビッグサイト(東京国際展示場)が開場／海の日施行

### 1997年

消費税率を5%に引き上げ／日本サッカー悲願のW杯初出場決める(ジョホールバルの歓喜)／フジテレビが台場の新社屋から本放送開始／大阪ドーム完成／ナゴヤドーム完成／山一証券破綻／東京湾アクアライン開通／磐越自動車道が全線開通

### 1998年

長野冬季五輪開催／第16回サッカーW杯仏大会に日本が初出場／映画「タイタニック」ブーム／和歌山毒物カレー事件発生／Windows 98発売／明石海峡大橋が開通／郵便番号7桁化

### 1999年

地域振興券(2万円の商品券)を政府が子どもと高齢者に支給／石原慎太郎氏が東京都知事に／上信越自動車道が全線開通／携帯電話・PHSの電話番号11桁化

### 2000年

シドニー五輪開催／白川英樹氏がノーベル化学賞を受賞／イチローが野手として日本人初の大リーガーとなる／三宅島噴火で全島民避難／新紙幣2000円札発行／新500円硬貨発行／BSデジタル放送開始／都営地下鉄大江戸線が全線開通

●伊豆新世紀創造祭開催

### 2001年

東京ディズニーシーグランド開園／ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開園／小泉内閣発足／日本の皇室にて愛子内親王誕生／国内で初の狂牛病発症／家電リサイクル法施行／JR東日本「Suica」登場／アメリカ同時多発テロ事件／埼玉スタジアム完成／札幌ドーム完成

●東海道400年祭開催

## 1999▶2004年度

### 1999年度(平成11年4月~12年3月)

- 6月 伊豆新世紀創造祭を応援しようと、伊豆地区分科会を2回開催。  
PART Iは、6月に土肥町で「もっと知りたい!伊豆新世紀創造祭」がテーマ。
- 7月 伊豆地区分科会PART II「伊豆新世紀創造祭と新たな交流人口の創出」を開催。幅広く住民参加を呼び掛けた。

### 2000年度(平成12年4月~13年3月)

- 8月 TESSが地方分権アンケート調査を実施。
- 10月 東部地区分科会で、西島昭男TESS委員長が「合併アンケート」調査結果を発表。  
基調講演は浦和市より政令市特別委員会委員長の福島正道市議を迎え「さいたま市誕生と議会の役割」と題し講演した。



### 2001年度(平成13年4月~14年3月)

- 3月 「富士山麓先端健康産業集積構想講演会」を静岡県と共催。

### 2002年度(平成14年4月~15年3月)

- 4月 伊豆の観光ポータルサイト「ゆうゆうネット伊豆」がリニューアルオープン。
- 12月 ファルマバレー構想の実現に向けたプロジェクトの早期推進などを盛り込んだ提言書を石川嘉延知事に提出。



### 2003年度(平成15年4月~16年3月)

- 10月 ラジオイストをリニューアル「Youゆ~サタデー」へ。
- 10月 提言書「静岡県グローバル観光戦略」を石川嘉延知事に提出。



### 2004年度(平成16年4月~17年3月)

- 懇話会設立10周年記念として、04年度、05年度の2カ年にわたり様々な行事を開催。
- 8月 懇話会ホームページ開設。
- 9月 10周年記念事業として、創業セミナー、海外視察等を発表。
- 10月 「Youゆ~サタデー」に会員コーナー「WIND FROM EAST」が登場。
- 3月 2007年技能五輪国際大会予定地視察見学会を実施。



## 主な出来事

### 2002年

ソルトレイクシティ冬季五輪開幕/2002 FIFAW杯日韓大会開幕/住民基本台帳ネットワーク稼働/UFJ銀行誕生/小柴昌俊氏がノーベル物理学賞受賞/田中耕一氏がノーベル化学賞受賞

#### ●県立静岡がんセンター開院

### 2003年

宮崎駿監督「千と千尋の神隠し」が第75回アカデミー賞長編アニメ映画賞を受賞/郵政事業庁が日本郵政公社に/六本木ヒルズがグランドオープン/小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ/朝青龍が第68代横綱に昇進/鳥インフルエンザ感染発生

#### ●ファルマバレーセンター(PVC)開設

PVCは静岡県東部地域を中心に、県が推進するファルマバレープロジェクトの中核的な支援機関

### 2004年

新潟県中越地震/アテネ五輪開催/日本で新紙幣発行(1万円札が福澤諭吉、5000円札が樋口一葉、1000円札が野口英世)/日本テレビが汐留の新社屋に移転/九州新幹線が開業/性同一性障害特例法が施行/ニンテンドーDSとプレイステーション・ポータブル発売/市町村合併により7府県で11市が誕生/シアトル・マリナーズのイチローがシーズン最多安打記録を84年ぶりに更新

#### ●修善寺町、土肥町、天城湯ケ島町、中伊豆町が合併、伊豆市に

### 2005年

日本プロ野球 セ・パ交流戦が開幕/愛知県で「愛・地球博」が開幕/JR福知山線脱線事故/宇宙飛行士野口聡一氏がスペースシャトル「ディスカバリー」で宇宙へ/つくばエクスプレス線が開通/ティープインパクトが三冠制覇を達成/日本の人口が1899年の統計開始以来初の自然減

#### ●沼津市、戸田村が合併、沼津市に

#### ●伊豆長岡町、韭山町、大仁町が合併、伊豆の国市に

#### ●西伊豆町、賀茂村が合併、西伊豆町に

#### ●かかりつけ湯協議会設立

かかりつけ湯は、従来の「観光」に「健康」の視点を入れた、伊豆の新しいブランド。PVCが選んだ、健康増進や癒しのための温泉宿のネットワーク

## 2005▶2012年度

### 2005年度(平成17年4月～18年3月)

- 4月 沼津、三島、函南、清水、長泉の2市3町の合併の必要性を訴える「広域合併推進冊子」を発行。
- 5月 北欧へ技能五輪視察団派遣。(フィンランド・ヘルシンキ)
- 8・9月 技能五輪沼津国際大会の跡地利用で沼津市と静岡県に提言。
- 11月 「道路行政の課題―伊豆地区の道路整備に向けて」と題し、特別講演会を開催。



### 2006年度(平成18年4月～19年3月)

- 7月 下田商工会議所、賀茂地区商工会連合会と共催で地域振興シンポジウムを開催。

### 2007年度(平成19年4月～20年3月)

- 7月 東部地区分科会で、技能五輪国際大会を前に実施される3種類のデモンストレーションを開催。
- 9月 特別シンポジウム「合併 新時代への道」を開催。
- 3月 コンベンション都市間競争を勝ち抜くために「沼津駅北拠点施設整備構想」を石川嘉延知事に提言。



### 2008年度(平成20年4月～21年3月)

- 7月 懇話会の年間テーマである「広域行政の推進」。東部地区分科会では、「道州制」について検討。
- 10月、2月、3月 富士山静岡空港カウントダウンシンポジウムを計3回開催。



### 2009年度(平成21年4月～22年3月)

- 3月 「風は東から」に川勝平太知事が初登場。



### 2010年度(平成22年4月～23年3月)

- 12月 全体会で浜松医大名誉教授の高田明和氏が「脳は若返る―ストレス社会を生き抜く」と題して講演。

### 2011年度(平成23年4月～24年3月)

- 6月 「動物の愛護と福祉のセンターの推進」を川勝平太知事に提言。
- 6月 静岡経済同友会東部協議会、東部6市4町商工会議所、商工会、青年会議所とともに「東部地域グランドデザイン策定支援会」を発足。

### 2012年度(平成24年4月～25年3月)

- 12月 全体会で沼津市出身の映画監督原田真人氏が、「映画『わが母の記』を語る」をテーマに作品に込めた思いやエピソードなどを紹介。

## 主な出来事

### 2006年

トリノ冬季五輪開幕／第1回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本が優勝／サッカーW杯ドイツ大会開催／表参道ヒルズがオープン／日本の65歳以上の人口率が世界最高、15歳以下の人口率が世界最低に

### 2007年

第1回東京マラソン開催／赤ちゃんポストの設置を認可／新潟県中越沖地震が発生

#### ●第39回技能五輪国際大会

若者たちが沼津市を舞台に、磨き上げた技で世界一を競った。11月15日から18日までの4日間、46カ国・地域の代表812人が、47の職種で、国・地域の誇りをかけて熱い闘いを繰り広げた

### 2008年

北京五輪開幕／タクシーの全面禁煙化が始まる／小林誠・益川敏英・南部陽一郎の3氏がノーベル物理学賞受賞／岐阜県に、国内最大級となる徳山ダムが完成

#### ●富士市、富士川町が合併、富士市に

### 2009年

鹿児島市の桜島が爆発的噴火／国際宇宙ステーションで日本が担当する実験棟「きぼう」が24年かけて完成／裁判員制度による初の裁判が始まる

#### ●第24回国民文化祭・しずおか2009

文化・芸術活動に取り組む人たちが年一度、全国から一堂に介し、日ごろの成果を披露する場で、静岡県全体が一つの大きな“ステージ”となった。「茶処しずおか」「富士山文化」「舞台芸術の祭典」「音楽のまち」など静岡県ならではのイベントを県下各地で開催した

### 2010年

バンクーバー冬季五輪開催／サッカーW杯南アフリカ大会で日本はベスト16／日本年金機構が発足／小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還／東北新幹線開通

#### ●富士宮市、芝川町が合併、富士宮市に

### 2011年

東日本大震災発生／「ニンテンドー3DS」発売／東北新幹線で「はやぶさ」運行開始／小笠原諸島が世界自然遺産に登録／女子サッカーW杯ドイツ大会で日本代表が優勝／地上デジタル放送に完全移行

### 2012年

「渋谷ヒカリエ」が開業／東京スカイツリーが開業／ロンドン五輪開催／女子レスリングの吉田沙保里が国民栄誉賞受賞／山中伸弥氏にノーベル生理学・医学賞

### 2013年

2013WBC開催／長嶋茂雄氏と松井秀喜氏に国民栄誉賞授与／富士山が世界文化遺産に登録／出雲大社と伊勢神宮が遷宮

#### ●富士山世界遺産登録



## 2013▶2019年度

### 2013年度(平成25年4月~26年3月)

- 8月 東部地区分科会で、新生・キラメツセぬまづを含む東部の総合コンベンションセンター「プラサヴェルデ」の活用法を探った。

### 2014年度(平成26年4月~27年3月)

- 11月 東部地区分科会で「人と動物の共生施設を拠点に」をテーマに討論。静岡新聞本紙ではドイツ・ベルリン郊外にある欧州最大の動物保護施設「ティアハイムベルリン」を取材。
- 2月 富士山世界遺産登録を受け、富士宮市猪之頭の田貫湖畔に世界的な彫刻家・流政之氏の石の彫刻をあしらった展望施設を整備。懇話会は施設整備を支援した。



### 2015年度(平成27年4月~28年3月)

- 10月 動物の愛護と福祉を啓発するラジオ番組「わんこ&にゃんこのHappy Life~僕らはみんなで生きている」開始。

### 2016年度(平成28年4月~29年3月)

- 11月 「人と動物が共生できる社会の実現」を目指した活動がNPO法人「人と動物のハッピーライフ」として具体化。



### 2017年度(平成29年4月~30年3月)

- 10月 「原・浮島地区まちづくり構想」を川勝平太知事に提言。同月、大沼明穂沼津市長にも提言を行った。
- 1月 伊豆市・河津町がワサビで登録を目指した「日本遺産」申請を全面的に協力した。



### 2018年度(平成30年4月~31年3月)

- 5月 伊豆産ワサビのガイドブック「わさび美(うるわし)」を発刊。

### 2019年度(平成31年4月~令和2年3月)

- 7月 「ラグビーW杯を契機としたビジネスマッチング」を提言。
- 10月 東部地区分科会は、県と協働で「静岡国際ビジネス交流会in東部」を開催。懇話会会員、神奈川県との経済人らが長泉町のヴァンジ彫刻庭園美術館で交流した。



## 主な出来事

### 2014年

あべのハルカス完成/ソチ冬季五輪開催/『笑っていいとも!』放送終了/消費税8%に増税/ブラジルW杯開催/富岡製糸場が世界文化遺産に登録/御嶽山が7年ぶりに噴火/赤崎勇・天野浩・中村修二の3氏がノーベル物理学賞を受賞

- 東駿河湾環状道路開通
- 総合コンベンション施設「プラサヴェルデ(キラメツセぬまづ)」開業

### 2015年

北陸新幹線開業/女子サッカーW杯で日本が準優勝/ラグビーW杯で日本が南アフリカから歴史的勝利/大村智氏がノーベル医学・生理学賞を受賞/マイナンバー制度がスタート

- 蕪山反射炉世界遺産登録
- 東京五輪・パラリンピック自転車競技トラック、マウンテンバイク県内開催が決定(伊豆市)

### 2016年

熊本で震度7の地震が発生/G7伊勢志摩サミット/イチローが日米通算4257安打を達成/18歳選挙権施行/女子レスリングの伊調馨が国民栄誉賞を受賞

### 2017年

「ニンテンドースイッチ」発売/稀勢の里が横綱昇進/WBC2017開幕、日本は準決勝敗退/「レゴランド」オープン/桐生祥秀が100mで日本人初の9秒台「9秒98」を記録

### 2018年

平昌冬季五輪開催/是枝裕和監督「万引き家族」がカンヌ最高賞/サッカーW杯で日本が決勝T進出/安室奈美恵が引退/築地市場が83年の歴史に幕を閉じ豊洲市場へ移転

- 伊豆半島ジオパークユネスコ世界ジオパーク認定
- 「静岡水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産に認定
- 東京五輪・パラリンピック自転車競技ロードレース県内開催が決定(御殿場市、裾野市、小山町)

### 2019年

天皇陛下在位30年式典/イチローが引退、日米通算4367安打/ノートルダム大聖堂で大火災/G20大阪サミット開催/洪野日向子が全英女子オープンで優勝/ラグビーW杯が日本で開幕/消費税10%スタート/吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞/元号が「令和」に改元/世界遺産 首里城が火災で焼失/ローマ教皇が38年ぶりに来日

- 静岡大と浜松医科大、統合再編で合意
- スルガ銀、新生銀・ノジマと提携

# 提言から実現へ



懇話会の懇話会たるゆえん——

それは、数々の地域課題を見つけ出し、  
その解決法を見出し、提言につなげていること。  
25年間で、計8回の提言書を  
地元自治体や県に提出しました。  
提言をきっかけに地域が大きく動き、  
実現した事例を紹介します。



提言 1996年12月24日

## 県観光活性化センター、仮設イベント施設の実現

1995年の懇話会設立時に提案された「観光情報センター構想」は「観光活性化センター」と名称を改め、情報の発信にとどまらず、より積極的なソフト会社として構想しました。

また、沼津駅北口開発事業が本格的に始動するまでの時限措置として、運営委員会が緊急作成した「沼津駅北口仮設イベント施設」の提言は、県東部でのにぎわいの拠点づくりの必要性を説いています。

### 実現内容

「県観光活性化センター」には、三島市が誘致に名乗りを上げるなど地域の注目を集めました。その後、伊豆新世紀創造祭を経て伊豆の情報ポータルサイト「ゆうゆうネット伊豆」として具体化しました。

また、沼津駅北口仮設イベント施設は97年2月、沼津市主導で設置が決まり、98年のオープンに向けてプロジェクトが発足しました。懇話会が提言した「簡易型ドーム」そ

のままに「キラメッセぬまづ」として誕生。当初10年程度の時限措置でしたが、後継施設の複合型展示施設「プラサヴェルデ」が完成するまで約16年、地域のにぎわいの拠点として様々な展示会、イベントなどを担いました。



提言 2 2002年12月4日

## ファルマバレー構想の早期実現

静岡がんセンターの開設を機に本格スタートした「ファルマバレー構想(現:プロジェクト)」。懇話会は構想の目標を達成するため、構想推進センターの早期稼働や産業クラスター形成の仕組みづくりなど4つの提言を行いました。

### 実現内容

ファルマバレープロジェクトはその後、中核的支援機関「ファルマバレーセンター」や研究機関「静岡がんセンター研究所」などのインフラ整備が進み、医療健康産業の集積地として日本のみならず世界からも注目される地域プロジェクトに成長しました。

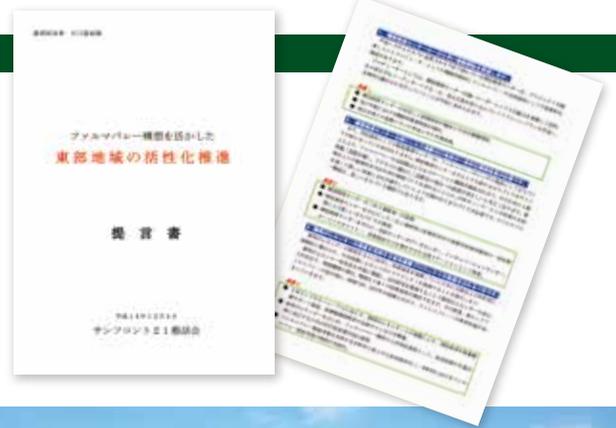
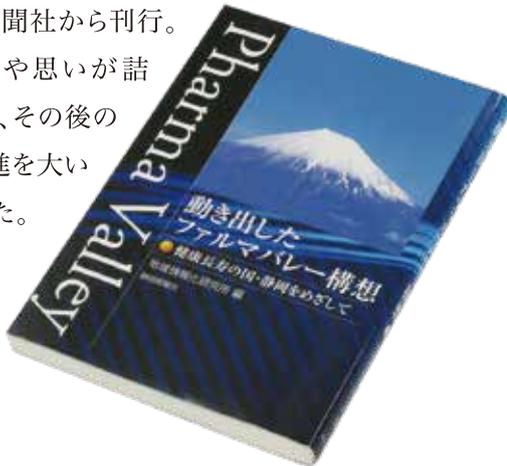
また、懇話会はいち早く冊子「動き出したファルマバレー構想」を静岡新聞社から刊行。

関係者の熱意や思いが詰

まったこの本は、その後の

構想の理解促進を大い

に後押ししました。



提言 3 2003年10月20日

## グローバル観光戦略

21世紀の有望産業としてクローズアップされた「観光」。観光県と言われる静岡も従来の視点だけでなく新たな視点での観光の在り方が必要との観点から、「海外旅行代理店の予約インフラ整備」「県単独プロモーションの実施」「受け入れ態勢の整備」の3つの提言を行いました。

### 実現内容

国を挙げての観光振興が進む中、首都圏に近い県東部は伊豆半島を中心に大勢の外国人観光客でにぎわうようになりました。富士山や韮山反射炉の世界遺産登録、伊豆半島ジオパークのユネスコ世界ジオパーク認定など、多くの世界タイトルを有する観光地に育っています。



## 技能五輪沼津国際大会の跡地利用～ ぬまづウエルネス・リサーチパーク

沼津市を舞台に開催した技能五輪国際大会の跡地を、ファルマバレープロジェクトと連携した「ぬまづウエルネス・リサーチパーク」として有効活用することを提言。健康関連の産業集積とベンチャーの創設を狙う内容でした。

### 実現内容

跡地に進出する企業の条件として、医療健康産業という付帯がなされたことで、自動車部品メーカーが医療機器分野に参入するなど、新たな産業集積が始まっています。

## コンベンション 沼津駅北拠点整備構想推進

県と沼津市が基本計画の策定を進める複合型コンベンション施設について、懇話会は「機能と市場を絞り、先行する都市との競争に勝てる施設」とすることが大事と指摘。ターゲットマーケティングに基づく誘致計画などを提言しました。

### 実現内容

同拠点施設は「プラサヴェルデ」として2014年夏に全面オープンし、県東部の賑わいを担う拠点となっています。



## 動物の愛護と福祉のセンター(仮称)の推進

動物臨床研究や、獣医師の教育、飼えなくなった犬や猫などの保護を目的に「動物の愛護と福祉のセンター(仮称)」を伊豆に設置し、新たな切り口のまちづくりにつなげる内容です。ファルマバレープロジェクトの一環として提言されました。

### 実現内容

拠点整備を見据え、NPO法人「人と動物のハッピーライフ」を設立しました。NPO法人は啓蒙、啓発活動として定期的なセミナーや講演会の開催、飼い主に正しい飼い方やしつけなどを楽しみながら伝える「わんわんフェスティバル」などを開催しています。また、2015年からはSBSラジオ「わんこ&にゃんこのHappy Life」が始まり、動物愛護の必要性を広く伝えていきます。





提言 **7** 2017年10月27日 静岡県知事/30日 沼津市長

## 原・浮島地区まちづくり構想

沼津市原・浮島地区の道の駅設置構想に合わせ、2万人収容の複合型スタジアムやJR東海道線新駅整備などを盛り込んだ「原・浮島地区まちづくり構想」を策定しました。

### 実現内容

東部地区分科会ではこのテーマを取り上げ、先端農業研究拠点「AOI-PARC」や歴史的建造物などを活用した地域づくりについて、活発な議論を交わしました。



提言 **8** 2019年7月18日

## ラグビーW杯を契機とした ビジネスマッチングの機会創出

ラグビーW杯開催国には、大会期間中、各国のビジネスエリートや富裕層が長期滞在し、国際的な経済交流の場を設けることが通例。今大会に向けて神奈川県側からビジネスマッチングの機会創出の提案が懇話会に持ち掛けられたこともあり、提言に結びつきました。

### 実現内容

県と共催で東部地区分科会を「静岡国際ビジネス交流会in東部」とし、ロシア・イタリアの大使館関係者や県東部、神奈川県の経済人ら約160人が交流しました。長泉町にあるヴァンジ彫刻庭園美術館を会場にしたことも話題となりました。



# 活動方針は地域課題を映す鏡

年間の活動方針は、そのまま県東部地域が持つ課題でもありました。

活動方針に沿い、毎年3回開催される各地区分科会はこの25年間で延べ76回に上ります。

ここでは、その主なものを紹介します。

懇話会の活動方針から、当時の社会情勢が見えてきます。

## 地方分権・広域連携の推進



設立からしばらくは、いかに地方分権社会を実現するかが大きなテーマでした。日本中で平成の大合併が進み、県中・西部には政令市が誕生しました。その間、東部は行政、あるいは経済界の主導による合併の青写真が何度も描かれてきましたが、政令市誕生には至りませんでした。合併特例法失効に伴い、多極分担型地域構造や道州制など、広域連携を模索。分科会のテーマにも広域連携をにらんだコンベンションや国際会議、インフラ整備などの単語が並びました。

## 観光振興



1991年をピークに、伊豆の宿泊客数は減少傾向となり、伊豆の観光活性化は県東部地域にとって長年の命題となっています。国が観光立国に大きく舵を切る中で、観光のテーマも情報化、周遊型、観光圏、ニューツーリズム、インバウンドと、目まぐるしく変わっていきました。その間、伊豆新世紀創造祭やJRの大型観光キャンペーンが開催され、一定の成果が上がっています。モノ消費からコト消費にトレンドが変わり、今後はますます地域の知恵と工夫が試される時です。

## ファルマバレープロジェクトと新産業の創出



県立静岡がんセンター開業を機に、先端医療健康産業の集積を目指すファルマバレープロジェクトが始まりました。国の医療特区の指定も受け、静岡県は医薬品・医療機器生産額が9年連続日本一になるなど、医療健康産業クラスターとして全国から注目を集める存在となっています。先頃、新たなテーマ「健康長寿・自立支援プロジェクト」が発表され、人生100年時代の住宅の在り方を検討するコンソーシアムが立ち上がりました。

## 世界遺産の保全と活用

富士山、そして韮山反射炉と、静岡県東部・伊豆は2つの「世界遺産」を有します。この世界レベルの資源をいかに地域振興に結び付けるか。懇話会では複数回にわたり議論を展開してきました。世界遺産登録やインバウンドの増加で、富士山への登山客のマナーや危機管理など多くの課題も散見する中、どのように保全と活用を両立させていくかは、地域の大きな課題です。また、韮山反射炉については、ビジターセンターなどを活用した教育推進などが期待されています。



## 人と動物の共生社会の実現

懇話会が進める動物愛護の啓発支援活動は、NPO法人「人と動物のハッピーライフ」の設立につながり、獣医師による定期的なセミナーや、地域がいかにペットを受け入れるかについてのシンポジウムを開催し、人と動物が共により良く暮らす方法を啓発しています。長泉町には動物先端医療センターも開院し、ヒト医療と動物医療が連携したトランスレーショナルリサーチによる医薬品開発も始まっています。



## スポーツによる産業振興

東京五輪・パラリンピックの自転車競技開催が決まった静岡県。トラック競技とマウンテンバイクは伊豆市の日本サイクルスポーツセンター、ロード競技は東京を出発して、小山町の富士スピードウェイまで約244km、上りの累計を示す「獲得標高」が約4,865mという山岳コースを一気に駆け抜ける過酷なレースとなる予定です。自転車競技の高まりを受け、地元ではレンタサイクル、シェアサイクルや大型自転車展示場、自転車をテーマにした宿泊施設などが台頭し、自転車の聖地づくりが進んでいます。



## 交通インフラの整備支援

新東名の開通、東駿河湾環状道路の開通で、県東部・伊豆のアクセスが良くなり、交流人口の拡大が見込まれています。また、2009年に開港した富士山静岡空港は、アジアの新たな玄関口として多くの中国人観光客を引き寄せています。

道路事情がよくなったことで、清水港―土肥港を結ぶ駿河湾フェリーの需要が落ち込みました。県は関係市町と共同で運行継続を決定。富士山静岡空港と伊豆を結ぶ二次交通として、また、海の魅力を堪能できる新たな地域のコンテンツとしての可能性を探ります。



# 県東部は 「ひかり輝く地域」に なったのか

1995年6月に産声を上げたサンフロント21懇話会。

県東部の産学官が集い、地域活性化に向けた提言をする団体として、25年経った今、東部だけでなく全県で大きな存在感を持つ団体となりました。

記念座談会では設立当初をよく知る方々や、その後の懇話会運営に深く携わる方々に、県東部・伊豆の「いま、むかし、未来」について聞きました。(誌上座談会)

## 県東部の危機感から 生まれた懇話会

**植松** 設立当時、県東部は、西部・中部に比べてまとまりがない、西高東低ともいわれていました。その危機感から、サンフロント21懇話会は立ち上がりました。設立の趣旨、当時の思い出、懇話会の特徴、使命などについてお伺いします。

**谷川** 静岡新聞・静岡放送沼津支社を格上げして東部総局を設立し、最初の取り組みとして産業、医療、法曹界等、さらには市町村をはじめ国、県関係機関など、この圏域で活躍のトップに一堂に会してもらい、リーダーの視点から東部全体の調和ある発展について自由かつ大胆に議論し、また交流する場を作ろうという思いで設立しました。今でこそ、存在が認知されていますが、スタート時は目的や趣旨を説明してもなかなか理解されず、会員の獲得

に苦労した思い出があります。

そのため、富士川以東、伊豆半島南端までを区分けして、総局が一丸となり会員獲得に努めました。その結果、会員は350人を超え、こういった組織に対する期待が大きいことに気付かされました。県中、西部に立ち遅れている状況を訴える声も大きかったため、懇話会は知恵の出どころだな、と感じました。

**峰田** 県東部はまとまりに欠け、力を出し切っていないという批評が根強くあり、これは中・西部の一極集中に対し、分散型の都市構造がマイナスに作用していると言われていました。こうした課題に地域が立ち向かうための産学官の団体を立ち上げたいと、初代の小谷勇東部総局長から聞いたのが懇話会との関わりのきっかけです。夢は大きく、理想は高く、新しい世紀に向かってそれぞれが個性と魅力を発揮しながら、力を合わせてビジョン

の実現に取り組み、ドングリの背比べ、足の引っ張り合いと言われた悪評を一掃したいと、会員獲得に奔走したのもいい思い出です。

## 提言にとどまらない活動

**植松** 当時の大きなテーマは「ひかり輝く地域づくりに向けて」でした。分科会では「伊豆の観光振興」「都市間協力の在り方を探る」「富士山との共存」などが話し合われていました。提言団体としての存在感が増してきたのは、懇話会が提言した伊豆の情報サイト「ゆうゆうネット伊豆」や東部のにぎわいの拠点「キラメッセぬまつ」の具体化がきっかけでした。

**伊東** 高度情報化が進み、地域構造の形成システムや人々のライフスタイルが大きく、かつ急激に変化する中、21世紀に向け、我々の生活圈や地域交流もより広がり、多様なものになります。設立当初は「岳南地区」「沼津・三島・



### 峰田 武

懇話会幹事  
(三島信用金庫特別顧問)  
1958年三島信用金庫に入り、83年常勤理事、89年常務理事を経て、92年理事長に就任。94年より三島商工会議所会頭。同金庫退官後は、三島市観光協会会長、佐野美術館理事長などを歴任。



### 伊東 哲夫

運営委員長  
(伊東法律事務所所長)  
1948年生まれ。沼津東高、中央大を経て、東京都中央区の弁護士事務所に勤務後、地元・沼津市に戻り、1985年「伊東法律事務所」を開設。趣味はスポーツ観戦。2015年から懇話会運営委員長。



### 西島 昭男

TESS委員長  
(シード社長)  
1945年生まれ。大学卒業後、テレビ局、百貨店等を経て1986年シード設立。番組制作、イベントプロデュース、商業施設開発など県内外の仕事幅広く手がける。ファルマバレープロジェクト戦略委員。



### 谷川 治

静岡新聞社常務取締役  
1972年静岡新聞社入社、松崎支局、伊東支局、東京支社などを経て、2002年編集局論説委員兼社会部長、07年東部総局長、08年取締役就任、11年浜松総局長、16年6月より現職。



### 植松 恒裕 (進行)

静岡新聞社取締役  
東部総局長  
1984年静岡新聞社入社、大仁支局、伊東支局、東京支社などを経て、2005年政治部副部長、09年社会部長、14年編集局長、16年取締役就任、18年7月より現職。

駿東地区」「伊豆地区」の3つの分科会で構成。新時代を考えた静岡県東部地域の発展、調和のため「ひかり輝く地域づくり」を目指しました。

**西島** 観光活性化センター構想は、伊豆の観光情報を一元的に発信する「ゆうゆうネット伊豆」というインターネットサイトとして具体化しました。地域の観光情報を広く発信するウェブサイトの先駆けです。また、東部に足りないコンベンション機能の設置を県に提言し、簡易型展示ドーム「キラメッセぬまづ」という形で具体化、地域活性化の起爆剤となりました。これが、現在沼津駅北にあるコンベンション施設「プラサヴェルデ」の前身です。このように、地域活性化の提言団体ですが、提言内容を具現化するための行動力—例えば予算がどのくらいか、資金をどう集めるのかといったことをきちんと考え、進められるのがこの懇話会の特徴と言えます。

**植松** また、様々な形で懇話会活動を発信してきましたね。

**谷川** 設立の翌年には、SBSラジオで県東部の観光や地域産業のポテンシャルの高さを広く発信する「ラジオイースト」を開始、3年目には懇話会活動やその時々地域の課題を取り上げる静岡新聞「風は東から」を始めました。また、本紙には懇話会会員に登場していただく「熱き地域人」を掲載。県東部の産学官が皆で地域を盛り上げていくという姿勢を、地域住民やこの地を訪れる人と共有し、さらなるシナジー効果を上げるため、情報発信は欠かせないと考えています。

### 伊豆新世紀創造祭、平成の大合併を振り返る

**植松** 2000年は「伊豆新世紀創造祭」が伊豆を舞台に開催されました。今までの観光とは一味も二味も違う切り口の観光施策でしたが、伊豆の観

光誘客の低迷に歯止めを掛けることはできませんでした。

**西島** 「チェンジ伊豆！」を合言葉に、伊豆各地を競合と考えるのではなく、伊豆全体での観光誘客を図ろうという大きなテーマを掲げた取り組みです。懇話会でも、通常年1回の伊豆地区分科会を2回に増やし、創造祭の意義や観光関係者だけでなく、住民が一丸となっておもてなしをしていこうという機運を高めました。情報発信の重要性や、バリアフリーの視点、物見遊山から体験型へのシフトなど、新たな切り口を掲げたイベントでしたが、観光従事者の既成概念や過去の成功体験、危機感の共有不足などからなかなか足並みがそろいませんでした。しかし、これをきっかけに若い世代間のネットワークづくりや県外との新しい交流の芽は育ったのではないのでしょうか。

**植松** 平成の大合併についても、何

度も分科会で取り上げ、TESSでは緊急アンケートや特別シンポジウム、合併を考える「合併本」などに着手。静岡、浜松に政令市が誕生する中、東部は長きにわたり、「総論賛成、各論反対」が続きました。

**西島** 懇話会では、設立当初から「地方分権」「広域連携」を大いに意識した活動を続けてきました。合併については、先進地・さいたま市の視察や、県東部首長らへの緊急アンケートなどを実施。合併を模索しましたが、自治体間の温度差は大きく、機能分担型の広域連携の可能性を探る方向へシフトしました。



結局、県東部は中西部のような政令市誕生はならず、合併特例法の期限が終了しました。中西部のような突出した力をもつ基礎自治体がないこと、首都圏マーケットの西端にいることなど、県東部独自の条件が合併を妨げた要因だったのでしょうか。

## 新たな地域テーマが登場

**植松** さて、そうこうするうちに、新たな地域テーマとして「ファルマバレープロジェクト」や「東部のコンベンション機能」「富士・箱根・伊豆、広域観光の推進」などが浮上しました。

**伊東** 少子高齢化が進み、医療費削減が喫緊の課題となる中、県東部にファルマバレープロジェクトがあることが、地域の大きなインセンティブに



なっているのは喜ばしいですね。医療健康産業分野は、高付加価値産業であるだけでなく、世界のマーケットを相手に可能性が大きく広がる分野だからです。懇話会としても、今後ますますの支援を行いながら、地域経済の活性化、豊かなライフスタイルの実現を共に図っていきたいと考えます。こうした中で大型コンベンション施設である「プラサヴェルデ」の開設や広域観光の推進なども生きてくるのではないのでしょうか。

**植松** 東部、伊豆に「富士山世界遺産登録」「韮山反射炉世界遺産登録」「伊豆半島世界ジオパーク認定」「わさび栽培の世界農業遺産認定」など、次々と「世界タイトル」が登場することとなりました。



県東部の価値の高まりを、懇話会としてはどのようにご覧になりますか？また、どう生かしていこうと思われませんか？

**峰田** 東部、伊豆は観光面では長年、首都圏という巨大マーケットを抱えていましたが、国内外で様々な地域間競

争が起こる中で、その存在感が薄くなってきたことは否めません。そんな中、富士山や韮山反射炉、伊豆半島ジオパークなどが立て続けに世界的注目を集めることになったのは、千載一遇のチャンスと考えます。

このチャンスを逃さず、日本人だけでなく海外の方にも快適な地域をどう創造していくか、ますます懇話会の存在意義が問われる時代になりますね。

**植松** 交通網の整備も県東部にとっては特筆すべきものです。富士山静岡空港の開港、新東名、伊豆縦貫自動車道の整備など、さらに便利になった県東部、伊豆。便利になった反面、通過交通の増加などマイナス面も顕在化したように思います。

**谷川** 新東名開通、伊豆縦貫自動車道整備が進み、首都圏や名古屋圏からのアクセスが格段に向上しました。伊豆縦貫自動車道については一刻も早い下田までの開通と、伊豆の東南海岸を結ぶ肋骨道路の整備が望まれますね。栃木や群馬などの北関東からの観光客の流入が増えた一方で、首都圏からの日帰り可能エリアが広がったことによる宿泊客の減少なども懸念されています。地域の魅力を見出し、効果的に情報発信するなど“通過地域”にならないための知恵の絞りどころでしょう。

富士山静岡空港については、インバウンド需要の増加による観光拡大が期待されますが、県東部、伊豆までの二次交通が課題。駿河湾フェリーの活用やチャーター機の可能性なども探っていききたいですね。

## 東京五輪・パラリンピックと今後の県東部地域

**植松** 東京五輪・パラリンピックは、残念ながら来年夏に延期となりまし

たが、地域の期待に変わりはありません。自転車によるまちづくりも各自治体で進み、新たな産業の萌芽が見えてきています。

**峰田** 県東部地域で自転車競技が開催されることに大きな可能性を感じています。この地域では、大型自転車展示場の開業、プロサイクリングチームの拠点設置、バイシクルピットや矢羽根表示の道路が増え、自転車競技大会を機に自転車愛好家も多くなりました。延期は自転車文化の醸成を加速させるチャンスととらえたいですね。



今後、各自治体には広域な連携を深めた「自転車活用推進計画」を策定されることを望みたい。日本ではまだマイナーですが、世界を見ると自転車愛好家人口は多く、ステータスも高いスポーツです。そうした人々が訪れ、楽しめるソフト、ハード面の整備がさらに進むことを期待しています。

**植松** 今年1月にトヨタ自動車の「コネクティッド・シティ」が裾野市に整備されることが発表されました。地域へのインパクトをどのようにお考えですか？

**伊東** 新技術で様々なものやことをつなげる「コネクティッド・シティ」。それが裾野市にできることで、県東部全体に良い効果が波及することを期待しています。県東部が得意とする医療健康分野やものづくり技術と、今後進む世界基準のまちづくりが上手に連携し、新たな産業分野が生まれ

るかもしれません。県も部署間を横断したプロジェクトチームを作ったと聞きます。

裾野市だけにとどまらず、県東部、県全体の好機ととらえ、懇話会として支援をしていきたいですね。

**植松** さて、25年を駆け足で振り返りましたが、締めくくりとして、活動の中で特に印象に残ったこと、懇話会の存在が県東部にもたらした影響、今後の県東部に対する役割などをお伺いしたいと思います。

**谷川** 日本全国、観光地の競争が激化しています。地域の特色、魅力発信をどうしていくかが知恵の絞りどころでしょう。新型コロナウイルスの影響で激減しましたが、東京から45分の熱海は多くの若者に人気ですね。しかし、やり方次第でもっと多くの若者世代が伊豆を訪れるでしょう。そのための受け皿づくりは重要です。



その一つがサイクリングなど自転車を生かした魅力づくりではないでしょうか。道路整備も含め、研究し、五輪から将来へとつなげていきたいですね。

**峰田** 県東部、伊豆には磨けば光る素材がたくさんあります。以前、沼津駅と港をモノレールでつなぐ試算をしたことがあります。実現していれば米国フィッシャーマンズワープに勝るとも劣らない一大観光地になったと思います。一昨年懇話会が提言した「原・浮島地区」の整備構想もしかり。地形

を生かし、尾瀬沼のような整備をすれば人が集まる場所になるでしょう。

三島のせせらぎと柿田川、そして沼津港と、「水」をテーマに回遊ルートを作るなど、アイデアはいくらでもあります。懇話会が提言団体から実行団体へシフトすることを望みたいです。

**西島** 今後の懇話会活動が県東部にとどまらず、神奈川、山梨を巻き込んだ「環富士山エリア」に広がることを望みます。3県に共通するもの、またそれぞれが持つ特徴を生かし、ビジネスマッチングや新産業の創出を通じ、新たな価値を創造したいですね。例えば、静岡のファルマバレー、山梨のメディカル・デバイス・コリドー、神奈川の未病プロジェクトなどが連携し、この地域が医療城下町になる。対象は人だけでなく、犬に代表される伴侶動物の健康やサプリメントの開発なども面白いでしょう。観光振興も「観光」という言葉にとらわれず、地域の特徴や文化、歴史を踏まえた価値を見出し、まちづくりにまでつなげたいですね。

**伊東** 少子高齢化、人口減少はますます進み、地方の存在自体が危うい時代になりました。今回の新型コロナウイルスのような、未知なる病との闘いもそれに拍車をかけ、地域経済に大きな打撃を与えています。一方で、AIやIoT（モノのインターネット）に代表される技術革新は目覚ましく、時間、空間を容易に飛び越え、望みさえすればどこでも交流できる環境も整ってきました。今後の県東部が「ひかり輝く地域」になるために、今までの25年のトライ＆エラーをどう生かし、目まぐるしく変化する社会情勢に立ち向かっていくのか、私たち自身の底力が試される時に来ていると思います。

**植松** 今後の懇話会の活躍を期待します。本日はありがとうございました。

## 25周年おめでとうございます

元静岡県知事 **石川 嘉延**

サンフロント21懇話会25周年、心からお慶び申し上げます。

この25年を振り返ってみますと、デジタル技術革命による情報通信分野を中心とする第4次産業革命の進展は驚くべきものがあります。

私が知事就任後間もなく、車載用無線電話が登場し、早速、東海地震警戒宣言発令時等の緊急連絡用として知事車に取り入れました。しかし、2年もたたない内に、小型の携帯電話が出回ったので、車載電話を廃止するとともに、それまで県庁の災害対策要員必携のポケベルを携帯電話に替えたことを思い出します。また、2005年に米国先端産業の視察のためシアトルを訪れた際、インターネットというものがこれか

ら情報通信分野に革命をもたらすと聞きましたが、その意味をよく理解できませんでした。しかし、その後程なくインターネットが世界に大変化をもたらし始め、驚くばかりでした。

このような時代の大転換の中、貴懇話会は東部地域経済界の皆様がいち早く総力を結集して経済産業を始め、地域社会全体のあるべき姿を多角的観点から探求し、東部地域の発展策について数々の提言をされてこられたことに深く敬意を表するとともに、今後益々のご発展をお祈り申し上げる次第です。



## リーダーをつなぐ地域興しの試み

初代東部総局長 **小谷 勇**

四半世紀の時を経て、東部総局の開局前と後の空気を読み解きますと、東部の地域興しに関わっていただきますリーダーの皆さんの意識が劇的に様変わりしたことが見て取れます。“沈黙”から“行動”へ。潮目は、サンフロント21懇話会の設立だったと思います。

懇話会は、東部地域の首長や経済人など各界リーダーが分科会を含めて年に5回、定期的に一堂に会して「近未来の東部を語り尽す場」。小規模市町村の点在で一枚岩に成り切れず半ば諦めていたけれど、人と人、地域と地域が課題解決に向けてつながれば、恵まれた立地条件が生かされると踏んだ結果の反転・攻勢だったと私は理解しています。

この流れを醸成した仕掛けがありました。東部総局が開局する直前に、本社が静岡県、東部政財界、神奈川新聞社などと協力して4年間連続で開催した

静岡・神奈川県際交流「ルート246サミット」です。先行する中西部を捉えるには、政財界のリーダーがつながることだと繰り返し訴えたのです。懇話会設立を主導したのは246沿線の経済人たちでした。

今、東部の地域興しに世界から熱い視線が注がれています。長泉のファルマバレーと医療城下町、富士の麓には山梨県と連携する医療健康産業、裾野ではトヨタ自動車の実証未来都市事業など国際標準の遠大な構想も目白押しだからです。世界遺産富士山と共生する“住みたくなる日本No.1地域”。そう評価される日が間近に迫ってきたような気がします。



## 静岡県特別補佐官 土屋 優行

サンフロント21懇話会における官民各界のリーダーの活動で、静岡県東部・伊豆地域において様々なプロジェクトが実現しています。近年では、富士山及び韮山反射炉の世界遺産登録をはじめ、伊豆半島の世界ジオパーク認定、水ワサビの世界農業遺産認定、駿河湾の世界で最も美しい湾クラブへの加入等々世界クラスの資源として認められました。

また、懇話会から提言されていた「スポーツを通じた地域創生」の集大成でもある東京五輪・パラリンピックは、一年間延期となりましたが、おもてなしを更に磨き上げ、本県の素晴らしさを世界に向けて発信する機会が増えたと捉え、皆様と一緒に盛り上げてまいりましょう。



## 県立静岡がんセンター 総長 山口 建

1994年に着想された静岡がんセンターは、様々な課題を克服し、2002年4月に開設されました。私自身は、築地の国立がんセンターに勤務しながら、設立委員の一人として活動していましたが、ある日、県庁の担当者から粗々だが最初の病院設計図を見せられました。それはサンフロント21懇話会の有志の設計で、その素早さが今も強く印象に残っています。その

後、“伊豆かかりつけ湯”や“健康長寿・自立支援プロジェクト”のお披露目の舞台も懇話会でした。

こうして、静岡がんセンターとファルマバレーセンターは、懇話会と二人三脚で歩んできました。今後もその関係が続くよう、懇話会のさらなる発展を心からお祈り申し上げます。



## 羽野水産 相談役 羽野 久雄 (初代運営委員長)

発足当初から9年にわたり運営委員長を仰せつかりました。その間、観光活性化センターはゆうゆうネット伊豆に、簡易型ドームはキラメッセぬまづにと実を結んだことは、感慨深い出来事でした。懇話会の成長とともに、東部も徐々にまとまりを見せてきたように思われ、あらためて会員の皆様一人ひとりがつくり出す流れの大きさに感じ入る次第です。

いま、設立当初をはるかに凌ぐスピードで社会は目まぐるしく変わっていきます。だからこそ、25年の実績を携えた懇話会活動に寄せられる、地域の皆様の期待はますます大きくなっていくことでしょう。運営委員の皆様をはじめ、会員の皆様方のさらなるご支援、ご活躍をお願いしたいと存じます。



## あさひ総合法律事務所 井口 賢明 (第2代運営委員長)

サンフロント21懇話会が創立25周年を迎えるという。これまで県東部地域発展のため、多くの提言を行い、幾多の実現を経てきた。これまでの活動、活躍による地域社会への貢献に敬意を表するものである。

草創期から四半世紀を経て、これからは、中興期に入ることであろう。日本は、これから、厳しい人口減少期、高齢化時代に突入する。した

がって、益々過疎化が進む。地方崩壊とか地方消滅などと取り沙汰されている位である。

静岡県東部地域は、伊豆半島を抱える。これからの懇話会の活動の焦点は、伊豆地域になるであろうか。そして、提言と同時に、その提言を実現するための持続可能な方策如何ということにも力を注ぐ必要があるように思えるのだが、

これからの隆盛を期待するものである。



### 観音温泉 代表取締役会長 鈴木 和江

サンフロント21懇話会設立25周年おめでとうございます。

観光資源豊かな静岡県から新聞、ラジオなどのメディアとともに、とくに全国でも有数の温泉地を有する伊豆半島から、その魅力を発信していくことが、東部地域の発展につなが

ていくと思います。

観音温泉のヌルヌル、スベスベとした泉質と超軟水が、入浴と飲泉で地域の皆様から全国へ美と健康をお届けできればと考えております。



### 加藤学園 副理事長 加藤 瑠美子

この度サンフロント懇話会が25周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

四半世紀の間、多種業の皆様のお話を伺うことができ、私共は大変勉強させていただきましたが、バラエティーに富んだ企画をされ続けた皆様方にも感謝いたします。

今年はコロナウイルスで県民は大変困惑しておりますが、早く収束することを祈りつつ、いささか活力に欠ける東部をサンフロントの皆様の英知でさらなる発展をとげるパワーをいただけるものと確信いたしております。



### ホテル暖香園 代表取締役 北岡 貴人

懇話会25周年を迎えられ、誠にありがとうございます。

東部地区を「ひかり輝く地域」にすることを目指して静岡新聞が活動されることを聞きました。伊豆半島東海岸に住む私達は昔から、湘南、関東地区との関係が深く、交通、放送、文化

の面でも関東地区を向いて生活をしていました。これらの弊害を打破され、県東部地区との融和が計られれば、近い将来中部、西部地区同様の地域の開発が計られるのではないかと感じます。



### 土屋建設 代表取締役 土屋 紀雄

サンフロント21懇話会が設立された時に、静岡新聞下田支局の建設を松井会長が手掛け、当社にて建設させて頂きました。

松井会長には、サンフロント21懇話会が平成7年6月に設立されて以来、専務、社長の時代より、大変お世話になりました。私事ですが、昨年12月17日に藍綬褒章を受章しましたこと

を、松井会長に直接伝えられなかったことが、残念で仕方ありません。

懇話会はこれまで積極的な提言や議論が続けてきました。これもひとえに、幹事、運営委員、アドバイザー、構成員の皆様のお陰です。

会員皆様のご健勝とサンフロント21懇話会のみずみずのご発展をお祈り申し上げます。



## 懇話会活動の源泉

# 懇話会のエンジン「運営委員会」

懇話会の活動方針を検討するのは、各地区から選抜された約20人の運営委員。初代運営委員長は羽野久雄羽野水産社長(当時)。その後、井口賢明あさひ総合法律事務所長にバトン

タッチされ、現在は伊東哲夫伊東法律事務所長がその任に当たっています。初年度から11もの地域プロジェクトを提案、2年目はシンクタンクTESSを創設し、懇話会独自の企画提案力

の強化を図りました。その後も広域行政の具体的な提案や他の地域団体との積極的な連携など、懇話会の存在意義を知らしめる原動力となっています。

## 懇話会の頭脳「シンクタンクTESS(Think the East of Shizuoka pref. with Sunfront21)」

TESSは、懇話会の提言活動をサポートする目的で1996年に設置されました。西島昭男シード社社長を委員長に、設立当初は7人の会員と、県内シンク

タンク等から研究員4人、顧問を懇話会運営委員長が務めました。観光活性化センター基本構想、沼津駅北口仮設イベント施設の基本計画案な

どを、矢継ぎ早に検討、企画書にまとめ、県、市に提言。また、各地区分科会のテーマ設定や講師選定などの原案をつくり、運営委員会を支えています。

## 活動をPR

### ラジオイースト

懇話会設立の翌年から始まったSBSラジオ土曜ワイド「ラジオイースト」。県東部の観光情報を中心に、さまざまなコーナーで構成しています。スタジオ収録のみならず、年に数回は公開放送を行っています。伊豆の各地の温泉を紹介する「温泉に行こう」は、放送開始以来の長寿コーナーです。



### 静岡新聞特集記事「風は東から」

懇話会設立3周年を記念し、毎月1回東部版に懇話会活動や、地域の課題を掲載しています。年3回の分科会のパネルディスカッション、また毎月のテーマに関係する首長や会員を取材。年度末には、県知事をお迎えした総括として鼎談形式でお送りしています。



### 本紙「熱き地域人」

懇話会創立10周年を記念し、始まったコーナー。会員の地域への思いや活性化のアイデアなどを伺っています。発足当初は、掲載希望が引きも切らなかったコーナーです。



# おめでとうメッセージ

懇話会が設立して25年。一貫して地方創生、広域連携の方策を模索してきました。

設立当時29あった県東部の自治体は20となり、

今後はますます官民が連携して地域づくりを進める時代となっています。

ここでは、懇話会が活動を共にする20市町のリーダーからのお祝いメッセージを掲載します。



沼津市長  
頼重 秀一

サンフロント21懇話会設立25周年を、心よりお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、企業、行政機関の枠を超えた立場から、官民一体となり、県東部地域の活性化につながる政策提言など、大きな貢献をしてられました。皆様の活動により得られる成果は、地域全体の財産であるとともに、さらなる発展につながるものと考えております。

貴会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



熱海市長  
齊藤 栄

サンフロント21懇話会が設立25周年を迎えられましたことに心よりお祝いを申し上げます。

貴懇話会におかれましては、1995年の設立以来、県知事への提言や地域の課題解決に向け、積極的に活動されておりますことに心から敬意を表します。

本市では現在、経済の持続的発展と市民の豊かな暮らしを実現するため、「熱海2030ビジョン」の下、熱海躍進のための礎づくりに取り組んでおります。

貴懇話会がこの25周年を一つの節目として、引き続き東部地域の活性化のために、ご活躍いただきますようお願い申し上げます。



三島市長  
豊岡 武士

このたび、サンフロント21懇話会が設立25周年を迎えられましたことに、心よりお祝いとお慶びを申し上げます。

貴懇話会の皆様におかれましては、静岡県東部の活性化を目的として、多様な分野に亘り、地域づくりに大変ご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

結びに、今後もサンフロント21懇話会がますます発展されますとともに、会員皆様方のご活躍、ご健勝を心よりご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。



富士宮市長  
須藤 秀忠

サンフロント21懇話会の設立25周年を心からお慶び申し上げます。

サンフロント21懇話会におかれましては、社会情勢に応じたテーマについて、様々な分野のリーダーが意見交換できる場を提供されておりますことに心から感謝申し上げます。

豊かな自然環境に恵まれた県東部地域は、大きな可能性を秘めたところであり、サンフロント21懇話会のお力添えの下、県東部地域のますますの発展と関係機関のさらなる御活躍をお祈り申し上げます。



1995



2020

- 2004.04.01  
伊豆市  
(修善寺町、土肥町、天城湯ヶ島町、中伊豆町)
- 2005.04.01  
沼津市 (沼津市、戸田村)
- 2005.04.01  
伊豆の国市 (伊豆長岡町、韮山町、大仁町)
- 2005.04.01  
西伊豆町 (西伊豆町、賀茂村)
- 2008.11.01  
富士市 (富士市、富士川町)
- 2010.03.23  
富士宮市 (富士宮市、芝川町)



**伊東市長**  
**小野 達也**

このたび、サンフロント21懇話会が設立25周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴懇話会の皆様方には、長きに渡り、県知事への政策提言をはじめ、地域の課題の解決に向けた分科会の開催など精力的に活動され、地域経済の発展や産業の振興など様々な分野に渡り、特段の御理解、御協力を賜っておりますこと、衷心より厚くお礼申し上げます。

今後も貴懇話会の益々の御発展と皆様方の御健勝を心から御祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



**富士市長**  
**小長井 義正**

サンフロント21懇話会設立25周年おめでとうございます。

設立以来、セルロースナノファイバーの実用化をはじめ、地域の多様なニーズや課題を的確に捉え、交流と議論を促し、地域活性化のために活動されてこられました。

富士市では、市民の皆様が期待する施策を着実に実施しつつ、「誰一人として取り残さない」というSDGsの理念とも重なり合う「生涯青春都市」の実現に向けて取り組んでいるところであります。

貴懇話会におかれましては、今後も魅力ある活動を展開され、東部地域の活性化に寄与されることを期待しております。



**御殿場市長**  
**若林 洋平**

サンフロント21懇話会の設立25周年、誠におめでとうございます。

業種・業界の枠を超えた会員相互の強い結束のもと、県東部地域の活性化や発展のため、明るい未来を目指した多彩な諸事業を展開され、産業・経済界のみならず地域社会全般において多大なご貢献をされてきました。

設立25周年を契機に、より力強く歩み出されるサンフロント21懇話会のさらなる発展と会員の皆様のご健勝・ご活躍を心から祈念申し上げます。



**下田市長**  
**福井 祐輔**

サンフロント21懇話会設立25周年、誠におめでとうございます。

日頃より、懇話会においては、県東部・伊豆地域の官民各界の皆様との意見交流において、地域の課題解決や活性化の取り組みを共有させていただき、改めて感謝申し上げます。

富士山と韮山反射炉の世界遺産登録、伊豆半島のユネスコ世界ジオパーク認定につづく、東京五輪・パラリンピックのレガシー構築に向けて、東部・伊豆地域の今後ますますの発展を祈念申し上げます。



裾野市長  
高村 謙二

サンフロント21懇話会が設立25周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。また、設立以来、県東部地域の発展・調和のためにご尽力を賜りましたことに

厚く御礼申し上げます。

貴会の活動によって垣根を越えた交流と深い議論ができることは、当市に内包する様々な課題を解決する糸口として、大変有意義であると認識しております。

県東部地域の発展を願う者同士、今後も持続可能で個性ある地域づくりを目指して、共に歩んでいきましょう。



伊豆市長  
菊地 豊

サンフロント21懇話会の25周年記念を、心からお慶び申し上げます。

県東部は、世界でも住みやすい場所の一つであると思います。温暖な気候、新幹線と東名高速道路

を基軸とする交通網、日本一高い富士山・日本一深い駿河湾・伊豆半島ジオパークを擁する観光資源、首都圏の高次都市機能を利用できる立地は、豊かで心地よい生活基盤になっています。

住んでよし、訪れてよしのこの地で、皆で手を取り合い明るい未来を切り拓いていきましょう。



伊豆の国市長  
小野 登志子

サンフロント21懇話会が設立から25周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

少子高齢化や地域経済の低迷、災害対策など社会が直面している問題が山積みの中、様々な業種の会員の皆様と時流を先に捉えたテーマに取り組み、政策提言を得たことは、当市が推進している「市と市民や民間との連携」による「まちづくり」の実現であります。

今後とも地域課題の解決に共に取り組んで参りましょう。



東伊豆町長  
太田 長八

サンフロント21懇話会の設立25周年、まことにおめでとうござい

ます。静岡県東部の地域に根差した課題を様々な責任ある立場の方が、自由に議論し、また交流を深めることは非常に有意義であると思います。近年は、社会構造がますます複雑化、多様化していることから、地域や組織の垣根を乗り越えて地域の活性化を真剣に考えていくことが求められていますので、当会の活動が益々活発になることを祈念いたします。



河津町長  
岸 重宏

サンフロント21懇話会25周年おめでとうございます。

これまで、新産業創出や近年では伊豆ワサビを多面的に紹介した「わさび美(うるわ)し」の発刊など、いつもその時々課題をテーマに、講演や提言など種々の活動を実践されており、ご努力に感謝申し上げます。今後も懇話会の趣旨であります県内の異業種の方々が一致団結した課題解決に期待しております。

四半世紀にわたり提言を発信し続けるサンフロント21懇話会の更なる飛躍をご期待申し上げます。



南伊豆町長  
岡部 克仁

サンフロント21懇話会が設立25周年を迎えられたことに心からお祝い申し上げます。

設立から25年間、日本経済及び地域経済が大きく変わる中、高い志を持った官民各界のリーダーの熱い思いが、今の東部地域の活性化に大きく貢献していることに、深く敬意を表します。

令和という新たな時代に東部地域の更なる飛躍と、サンフロント21懇話会の益々の発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



松崎町長  
長嶋 精一

サンフロント21懇話会設立25周年おめでとうございます。

少子高齢化や地域経済の低迷、災害対策、新型コロナウイルス感染症対策など社会が直面して

いる課題が多い中、今後も県東部・伊豆地域の活性化を目指して、異業種の方々と連携・交流を図り、地域の課題解決にお力添えをお願いいたします。

貴懇話会並びに会員の皆様のみますのご発展とご健勝をご祈念いたします。



西伊豆町長  
星野 浄晋

サンフロント21懇話会設立25周年おめでとうございます。

県東部の地域課題や発展に対し、様々な業種の方々にご尽力いただいていることに対し、深く感謝申

上げます。

平成7年の発足から時代は大きく変化し、加速する人口減少や、少子化・高齢化、そして新型コロナウイルスの感染拡大など多くの課題はありますが、地域が一丸となって取り組むことで、乗り越えていけると信じております。

今後も懇話会の活動と、更なる飛躍を祈念いたします。



函南町長  
仁科 喜世志

サンフロント21懇話会設立25周年おめでとうございます。

県東部地域の活性化を目的に、異業種の方々が組織の垣根を越え、フリーな立場で一体となって、

実効性を高める支援活動を続けていただいていることに感謝申し上げます。加速する人口減少、高齢化、そして新型コロナウイルスの感染拡大など、難題が山積しておりますが、今後も地域に密着した地域ための活動にお力添えをお願い致します。貴懇話会並びに会員の皆様のみますのご発展とご健勝をご祈念いたします。



清水町長  
関 義弘

貴会が設立25周年を迎えられたことに、衷心よりお祝い申し上げます。

1995年の設立以来、地域活性化のリーダーとして、ひとづくり、まちづくり、観光、健康等幅広い分野に

わたり、貴会が県東部地域交流の発展にご尽力いただいておりますことに、敬意と感謝の意を表します。今後も、未来への誇りあるまちづくりの実現に向け、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに貴会のさらなるご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、お祝いのメッセージといたします。



長泉町長  
池田 修

このたびは、サンフロント21懇話会設立25周年をお迎えになり、誠におめでとうございます。貴団体におかれましては、様々なテーマにおける交流や議論を通じ、東

部地域の活性化に大きな貢献をされておりますことに、改めて敬意と感謝を申し上げます。

当町といたしましても、行政に限らず、各業界において活躍されている多くの方々と共に、さらなる地域活性化に寄与できるよう、引き続き貴団体の活動をしっかりと支えてまいりますと考えております。



小山町長  
池谷 晴一

御会の25周年、心より御祝い申し上げます。

東京一極集中という現状の中、地方を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、地方創生は未だ道

半ばであります。その対応のためには、個々の自治体だけでなく地域全体で魅力を発信し続ける必要があります。今後ますます御会を軸とした東部地域全体の連携が大きな意味を持つと期待するところでございます。

末筆ながら、御会の一層の御発展と会員の皆様方の御活躍を祈念いたしまして、御祝いの言葉とさせていただきます。

## 資料で見る懇話会活動

設立	1995年6月	会員数 365人
構成	幹事	岩崎 清悟 岡野 光喜 北岡 貴人 清野 眞司 福島 豊 堀田 大洋 牧田 一郎 峰田 武 矢田部 盛男
	運営委員	伊東 哲夫 井口 賢明 池田 誠 小野 徹 片山 劼 勝又 規雄 諏訪部 照久 土屋 紀雄 西島 昭男 羽野 久雄 一杉 真城 室伏 勝宏
	TESS構成員	西島 昭男 井口 賢明 羽野 久雄 小野 徹 諏訪部 照久 青山 茂 石川 哲史 大石 人士 塩野 敏晴 柴 浩行 中山 勝
	アドバイザー	大坪 檀 坂本 光司 土居 弘幸 (2019年度現在・敬称略)

年間活動 総会(1回)  
分科会(伊豆地区・東部地区・富士山地区 各1回)  
全体会(1回)  
幹事・運営委員・県東部選出議員団・市町長による合同会議(1回)  
運営委員会、TESS委員会 等



## 25年間の各地区分科会テーマ一覧

### 伊豆地区分科会

また見つけた伊豆の宝/伊豆活性化のポイント/国際競争力のある観光づくり/人と自然と文化の融合 ～分権時代の中伊豆を考える～/もっと知りたい!伊豆新世紀創造祭/温泉と歩く/広域観光と情報化戦略/伊豆ブランドの確立に向けて/伊豆観光の新展開～ウェルネスによる伊豆の活性化に向けて/国際観光時代、伊豆の課題/伊豆周遊観光の課題～コンピューター空港の可能性を探る～/輝く伊豆南部へ～合併、観光振興を探る/富士・箱根・

伊豆 広域連携による観光戦略/富士山静岡空港開港カウンタダウンシンポジウム/伊豆の観光はウェルネス/伊豆観光圏/人と動物の共生～目指せ真の成熟社会/ジオパークで伊豆の経済を活性化/スポーツが創る新たな観光市場/伊豆縦貫道全線開通に向けた地域の取り組み/世界に輝く伊豆の創生/伊豆の旅館文化と文豪遺産/伊豆の魅力とインバウンド/ジオからの恩恵と伊豆観光ブランド化/伊豆の地域振興と人口減少時代の課題

### 東部地区分科会

都市間協力の在り方を探る/都心部の空洞化を考える/富士山麓に匠の集う知的空間を、北駿を文化の情報拠点に/東部拠点都市の創造～駿東地区都市連合の実現に向けて～/地方分権展開へのシナリオ～県東部首長にきく～/広域行政実現の条件/21世紀型地域産業集積の創出と広域連携～東部地区での展開～/静岡県東部地区の市町村合併/大詰めを迎えた市町村合併/動き出したファルマバレー構想～高度知識産業の始まり～/技能五輪国際大会とファルマバレー構想～ヘルシンキ大会の視察を終えて～/静岡のわざ～世界へ/翔け 匠のわざ

『道州制』って何?～あすの都市づくりを考える～/東部地区におけるコンベンション機能の促進/キラメッセぬまづ 成功の軌跡と新たな可能性を検証する/東部地域を支える交通ネットワーク/ふじのくに先端医療総合特区/コンベンションによる地域の活性化/新たな地域創生～人と動物の共生施設を拠点に/人と動物が共生できる社会の実現を目指して/スポーツ産業化と地域の創生/郷土を育てるまちづくりに向かって/超高齢社会における自立支援の実現に向けて/静岡国際ビジネス交流会in東部

### 富士地区分科会・富士山地区分科会

富士山との共存/富士山のふもとにこどもの市(まち)づくり～テーマ・パークと地域おこし～/“作る”から“創る”～創造の息吹が感じられるまちに～/富士山こどもの国を踏まえた広域都市連合/国際化時代における新産業都市とは/地方工業都市の空洞化と今後の課題/価値づくり、人づくり/ものづくり 人づくり 街づくり/食と健康 食と環境/新たな都市へ向けて/ファルマバレー 富士山 世界遺産/明日の『富士ブランド』戦略/富士山静岡空港開港カウンタダウンシンポジウム/富士山を生かした

スポーツコンベンションの可能性/地元の食文化でまちおこし～富士山ろく B級グルメルート/食文化と観光の融合～目指せ 環富士山フードツーリズム王国/ニューツーリズム/新東名沿線にビジネス・チャンスをつかめ/夜景による地域創生/世界遺産『富士山』を真の観光地とするために/伝えたい世界遺産富士山の価値と魅力/CNFが拓く、地域の可能性/五輪後のレガシーと地域振興/富士山の安全、世界遺産の保護、そして観光のこれから

## 歴史の転換期にそよぐ「希望の風」

副代表幹事  
静岡ガス特別顧問

岩崎 清悟



当懇話会は、25年間の提言活動により地域の活性化に貢献してまいりました。ここに至るご関係の皆様のご尽力に深甚なる敬意を申し上げる次第であります。

さて、現下の様々な事象から将来を展望いたしますとき、まさに大きな曲がり角に立たされているとの実感を強くしております。

日本を先駆とする少子高齢化社会の到来。IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）など情報化技術の進展による生産や労働さらには生活様式での大きな変革。世界基準たる民主化・グローバリズムにも、格差拡大やポピュリズム台頭、コロナウイルスの世界的蔓延など負の側面が顕在化。大型台風や豪雨、大規模森林火災などの要因とされる地球温暖化の深刻化、等々であります。

戦後の世界を貫いてきた「成長至上主義」の限界を感じざるを得ず、持続可能な社会の構築に向けた取り組みを本格化しなければならない局面にあるように思います。

こうした歴史の転換期にあって、東部地域には新たな取り組みを促す数々の風が吹いています。

1年の延期となった東京五輪・パラリンピックには、世界の各国から自転車競技の会場となる東部

地域に観客が来訪されます。富士山や伊豆半島ジオパークといった世界に誇る眺望や豊富な温泉、山海の味覚などの場の力を最大に発揮してもてなすことにより、再訪したい地域とのレガシーを残したいものであります。

静岡県と山梨県が連携したメディカル・デバイス・コリドーは、当懇話会が黎明期から注力したファルマバレープロジェクトの一層の展開を促進するものであり、高付加価値型医療機器産業の本格展開が期待されます。

裾野市にトヨタ自動車が進める「コネクティッド・シティ」構想は、NTTとの連携により先端技術を駆使した未来都市の実証が展開されます。裾野市はもとより周辺市町においてもこの未来都市と連携した特色あるまちづくりを進めることで、世界に「住みたい街」のモデルを提示することも可能となりましょう。

当懇話会におきましては、こうした「希望の風」を地域の隅々にまでそよがせるよう提言活動などに努めてまいりたいと考えておりますので、会員の皆様の引き続きご尽力をお願い申し上げ、巻末のご挨拶といたします。



<http://www.sunfront21.org/>

発行 2020年5月29日

〒410-8560 沼津市魚町1番地 サンフロント5F

静岡新聞社・静岡放送東部総局内 サンフロント21懇話会事務局

TEL.055-962-6520